



脱炭素社会の実現に向けた水素利用推進事業 **910,828千円** (819,097千円)

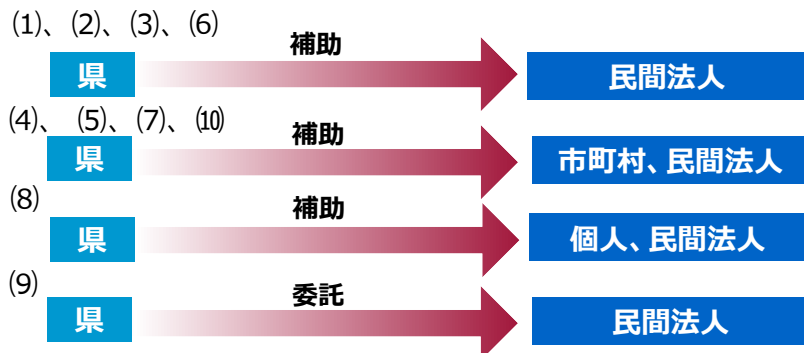
エネルギー課

1 事業の内容

事業目的・概要

- 水素エネルギーは、利用時にCO2を排出しないことなどから、カーボンニュートラルの達成に向けたキーテクノロジーとして期待されており、国内外で利活用の拡大に向けた取組が進められている。
- 令和3年2月に、政府等関係機関との協議のもと改定した「福島新エネ社会構想」においても、今後の取組の柱として、水素を日常生活や産業部門で利活用する社会、すなわち「水素社会」の実現が掲げられている。
- 令和7年2月、燃料電池トラック普及・水素ステーション整備方針を策定し、同年5月には、経産省から「燃料電池商用車の導入促進に関する重点地域」に選定された。
- これらを踏まえ、本事業では、各種導入支援により水素エネルギーの普及拡大を促進しつつ、その仕組みや有効性、水素社会がもたらす意義等についての県民理解促進に係る取組等を推進することで、将来の水素の自立的な普及拡大、ひいては水素社会の実現を目指す。

事業スキーム



2 事業イメージ

- | | |
|------------------------------------|-----------|
| (1) 水素ステーション整備拡大事業 | 300,000千円 |
| ✓ 県内における商用水素STの整備を支援。 | |
| (2) 水素需要創出活動支援事業 | 37,500千円 |
| ✓ 水素ステーションにおける水素需要創出活動を支援。 | |
| (3) 水素利活用スタートアップ支援事業 | 29,850千円 |
| ✓ 新たな水素モビリティを活用した実証事業への県内企業の参画を支援。 | |
| (4) 燃料電池小型トラック運用支援事業 | 26,850千円 |
| ✓ 県内における燃料電池小型トラックの運用を支援。 | |
| (5) 燃料電池小型トラック導入促進事業 | 50,000千円 |
| ✓ 県内における燃料電池小型トラックの導入を支援。 | |
| (6) 燃料電池大型トラック社会実装支援事業 | 31,550千円 |
| ✓ 県内を拠点とした燃料電池大型トラックの運用を支援。 | |
| (7) 燃料電池バス導入促進事業 | 66,500千円 |
| ✓ 県内における燃料電池バスの導入を支援。 | |
| (8) 燃料電池自動車導入促進事業 | 50,000千円 |
| ✓ 県内における燃料電池自動車の導入を支援。 | |
| (9) 県産水素利活用PR事業 | 18,178千円 |
| ✓ 県有施設等に設置した燃料電池の積極稼働等を通じ、水素をPR。 | |
| (10) 純水素燃料電池導入促進事業 | 300,400千円 |
| ✓ 県内における純水素燃料電池の導入を支援。 | |